

ひめだ高宏ニユース

日本共産党

No.85

10.8.18

夏の事故：山や海、屋内でも

山や海での事故で命をなくす人は後をたたくず、特に今年はそのに加え熱中症による死亡記事が目立っているように思います。17日、総務省消防庁は、熱中症による救急搬送が5月31日と8月15日までに全国で3ノ5ク9人あり、たと発表しました。東京都の調べでは7月17日と8月16日の死者数は100人で、96人が屋内で、内83人が70才以上だったとのこと。

熱中症にならないために

①体調を整える

睡眠不足や風邪がみ、体調の悪いときは、暑い日中の外出や運動は控えよう

②服装に注意

通気性の良い服を着て、外出時には、きちんと帽子をかぶろう

③こまめに水分補給

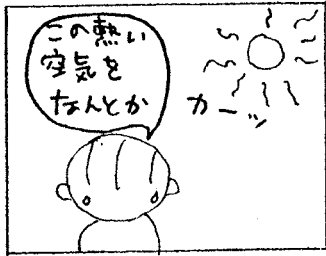
「のどが焼いた」と感じ

フリーの人々



<628>

全国142地点で35度以上の猛暑



たときには、すでにかなり水分不足になっていることが多いもの。定期的に少しずつ水分を補給しよう。特に夏場は汗と一緒に塩分が失われることを考えるとスポーツドリンクなどを飲むのがおすすめです。

④年齢も考慮に入れ

体内の機能は発育中の子どもや体力が衰えはじめた高齢者は熱中症になりやすい。年齢を考慮して、予防を心がけることも大切だ

熱中症かもと

思ったら

- ◎涼しい日陰やクーラーの効いた室内に移動する
- ◎衣類をゆるめて休む

◎体を冷やす
◎水分や塩分を補給する
☆反応がにぶい、行動がおかしい、意識がハッキリしないなどの場合は、すぐに救急車をよんで、病院で診てもらおう。(予防と対策はHP・ヘルスクリニックより)

こんにちは

県会議員の
ふじい健太郎
です。
(その27)

同時に、この4年間の活動をまとめ、来期にむけての政策づくりにも取り組んでいます。行革による福祉医療の改善を押しとどめたことや産業廃棄物の不法投棄を規制する条例をつくら

残暑厳しき折、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。7月と8月の参議院、市長、市議会補欠選挙と暑さ厳しい中、多くの皆さんのご支援をいただきました。結果は、残念なものとなりましたが、いつまでも悔やんでいるわけにもまいりません。秋には知事選挙、来春には県議会、市議会選挙と選挙が続きます。心機一新がんばらねばと、再びネジを巻きなおして、元気に走り回っています。

せたことをはじめ、振り返ってみると結構な人やかやと県政を動かす力にもなっています。近々、皆様にも見ていただき、多くのご意見、ご批判をいただけたらと思っております。今後ともどうぞよろしくお願ひします。



ふじい健太郎 県議員

6月議会報告・県・市議会だより

6月定例県議会(6月7日〜13日)、同市議会(6月11日〜30日)の報告冊子「日本共産党県・市議団」より発行されました。今週号の赤旗日曜版に折りこまれています。

お読みになった感想やご意見、質問などを、電話やファックス、メールなどで県議団、市議団に送ってください。

漂流

今年の夏に驚いたのは、100歳以上の高齢者の所在不明問題です。

東京の事件から始まり、全国で242人(8月15日現在)の所在不明者があるとのこと。108人は兵庫県で、大震災もあったのと思えないこともありませんか。出て行ったまゝあからぬ口と答える家族の対応にもビックリですが、夕テ制行政がどうか、個人

こどもたちは



日本共産党

法人課税の実効税率が引き下げられたら最も多い使い道は「内部留保」

「信用調査機関の帝国データバンクが7月末に行った企業の意識調査でこ

うした結果が明らかになりました。回答企業1万446社中、「内部留保」と答えたのは2925社、25.6%。次いで「借入金の返済」が16.8%、「給与や賞与の増額による社員への還元」が15.5%、「設備投資の増強」が12.7%。法人課税の実効税率を下げても、従業員の待遇改善や生産活動への投資がこの次であることを示しています。

政府や財界は「法人税を下げないと企業が海外に逃げる」と宣伝しますが、法人課税の減税で何に期待するかとの質問には、「海外移転の抑制」を挙げたのは、31.3%で一番多かったです。

人情報がどうかまじう行政にもあき水しました。こんなお役所仕事では、年金も消えるハズです。18日の新聞、テレビでは、和歌山市は100歳の男性1人をのぞいて確認できた

伝えるべき戦争の実態(武野繁泰) 戦争が終わり、76年、テレビでは被爆・終戦特集番組が多かったとか、私はその手の番組はあまり見ない方ですが、今年「吉永小百合 被爆65年の広島・長崎」と倉本聰のドラマ「歸國」を見ました。そこで感じたのは、私自身の目線が普段思っている以上に年相応になっっているということだ

ただ100歳以上で二つなら90や80歳ではもっと大勢の不明があるのでは。「わか町は全員わかっている」という時はどこかにあるのでしょうか。

手平在住の漫画家・武野繁泰さんが紀州・熊野を描いた宇江敏勝さん原作「炭燐物語」に続き、「母と骨」大東亜戦争悲話を青林堂から出版しました。(A5版112頁、1470円)

「その帯に、忘れてはならない昭和の記憶―実話に基づいた戦争悲話」とあるように、戦争に駆り出された青年と送り出した家族の物語です。私も前作に続き1冊買って読みました。短い作品ですが、かなり重いモノを感じました。戦争したらアカン。



た。戦争したらアカン。